

第9回腎癌研究会プログラム

日 時:平成7年4月12日(水)午前9時~午後5時

場 所:幕張メッセ国際会議場

主 題: - 腎癌と遺伝子 -

Session

座長 塚本泰司(札幌医科大学)

窪田吉信(横浜市立大学)

1. 36本の染色体数とゲノム不安定性を示した Chromophobe 型腎細胞癌の1例

横浜市立大学泌尿器科¹⁾ 中検病理²⁾ 第2病理³⁾

東京医科歯科大学難治疾患研究所細胞遺伝⁴⁾

小林一樹¹⁾ 近藤慶一¹⁾ 酒井直樹¹⁾ 金子茂樹¹⁾ 矢尾正祐¹⁾

執印太郎¹⁾ 北村 均²⁾ 長嶋洋治³⁾ 吉田光昭⁴⁾

2. 腎癌における APC および VHL 遺伝子変異について

千葉大学

鈴木啓悦 岡野達弥 井坂茂夫 島崎 淳

3. 腎癌における nm23 の発現

東京女子医科大学

橋本恭伸 近藤恒徳 伊藤文夫 中沢速和 東間 紘

4. 腎細胞癌における Fas 抗原発現の検討

東京大学

狩野宗英 堀江重郎 河邊香月

5. 単純ヘルペスウイルスチミジンキナーゼ遺伝子導入腎細胞癌に対する

腫瘍特異的細胞障害 T 細胞の誘導

日本医科大学泌尿器科¹⁾ 第二生化学²⁾

清水宏之¹⁾ 鈴木 聡²⁾ 山本史郎¹⁾ 寺島保典¹⁾

秋元成太¹⁾ 島田 隆²⁾

6. 腎癌治療における抗イデオタイプ抗体の有用性について

奈良県立医科大学¹⁾ オランダ・ナイメヘン大学²⁾

植村天受¹⁾ 岡島英五郎¹⁾ Egbert Oosterwijk²⁾

7．腎細胞癌における bcl-2 の発現

新潟大学

富田善彦 Vladimir Bilim 川崎 隆

8．腎細胞癌における MAP (mitogen-activated protein) kinase カスケードの活性化

京都大学¹⁾ 岐阜薬科大学²⁾ 奈良先端科学技術大学院大学³⁾

岡 裕也¹⁾ 茶谷祐司²⁾ 小川 修¹⁾ 箕 善行¹⁾ 河野通明²⁾

川市正史³⁾ 吉田 修¹⁾

9．腎細胞癌における 9p21-22 領域の遺伝子変化

京都大学泌尿器科¹⁾ 第2病理²⁾

木下秀文^{1,2)} 山田 仁^{1,2)} 箕 善行¹⁾ 小川 修¹⁾

高橋 玲²⁾ 杉山武敏²⁾ 吉田 修¹⁾

10．腎細胞癌における細胞周期調節遺伝子の解析

札幌医科大学

宮尾則臣 高橋 敦 舩森直哉 竹田孝一 執行雅紀 尾田寿朗

塚本泰司 熊本悦明

11．腎癌における抗癌剤耐性遺伝子の発現に関する検討

九州大学泌尿器科¹⁾ 第一生化学²⁾

長谷川周二¹⁾ 内藤誠二¹⁾ 山崎武成¹⁾ 小藤秀嗣¹⁾

古賀寛史¹⁾ 野間秀哉¹⁾ 熊澤浄一¹⁾ 横溝 晃²⁾ 桑野信彦²⁾

12．後天性嚢胞腎合併腎癌と非透析腎癌症例での細胞遺伝学的比較検討

聖マリアンナ医科大学¹⁾ 横浜第一病院²⁾ 横浜市立大学³⁾

橋崎和子¹⁾ 皆川信彦¹⁾ 星野孝夫¹⁾ 黒子幸一¹⁾

長田尚夫¹⁾ 日台英雄²⁾ 長嶋洋治³⁾ 宮城洋平³⁾ 三杉和章³⁾

教育講座

座長 香川 征 (徳島大学)

「ヒト腎癌における癌遺伝子、癌抑制遺伝子の異常」

横浜市立大学

執印太郎

「腎細胞癌に対する分子生物学的解析」

北里大学

内田豊昭

「腎細胞癌の内因性 MDR に関連する遺伝子群の発現の解析」

京都大学

箕 善行

「腎細胞癌における CD44 変異型の発現と GM - CSF との関係」

徳島大学

香川 征